

緊急地震速報（予報電文）で、あなたの場所の「到達震度」と「猶予秒数」を通知する優位性

予報許可事業者（地震動）の予報電文は、設置場所の緯度・経度・地盤増幅度を考慮した予測を提供し、より早く、より正確に、命と安全を守る行動につなげます。

緊急地震速報 予報の流れ（予報電文の場合）



気象庁の警報（TV・ラジオ等）との違い

気象庁の緊急地震速報（警報）



- ・全国を対象に一斉配信
- ・地域ごとの大まかな予測
- ・震度は「予想される最大震度」
- ・猶予時間は表示されない

例：東京都の予想震度 5強



予報許可事業者（地震動）の予報電文

到達震度 5強（予測）
猶予時間 12秒

- ・設置場所ごとに個別予測
- ・緯度・経度・地盤増幅度を考慮
- ・到達震度（予測）を通知
- ・猶予秒数を通知

例：同じ東京都内でも場所で異なる



到達震度と猶予秒数を通知することの優位性



1. 行動の判断がしやすい
「あと何秒あるか」がわかることで、安全確保のための行動を即座に判断できます。



2. 設置場所に最適化された情報
地盤や場所の特性を考慮した予測で、より現実に即した情報を受け取れます。



3. 被害の軽減・安全確保に直結
機器の制御停止、エレベーター停止、避難行動などを、間に合ううちに実施できます。



4. 命と暮らしを守る
数秒の猶予が、けがの防止や被害の最小化、事業継続・安心につながります。



あなたの場所に最適化された「到達震度」と「猶予秒数」を、いち早くお知らせします。
早く知ることが、命を守る一歩になります。

予報許可事業者（地震動）の予報電文は、より早く、より正確に、あなたの安全行動を支援します。